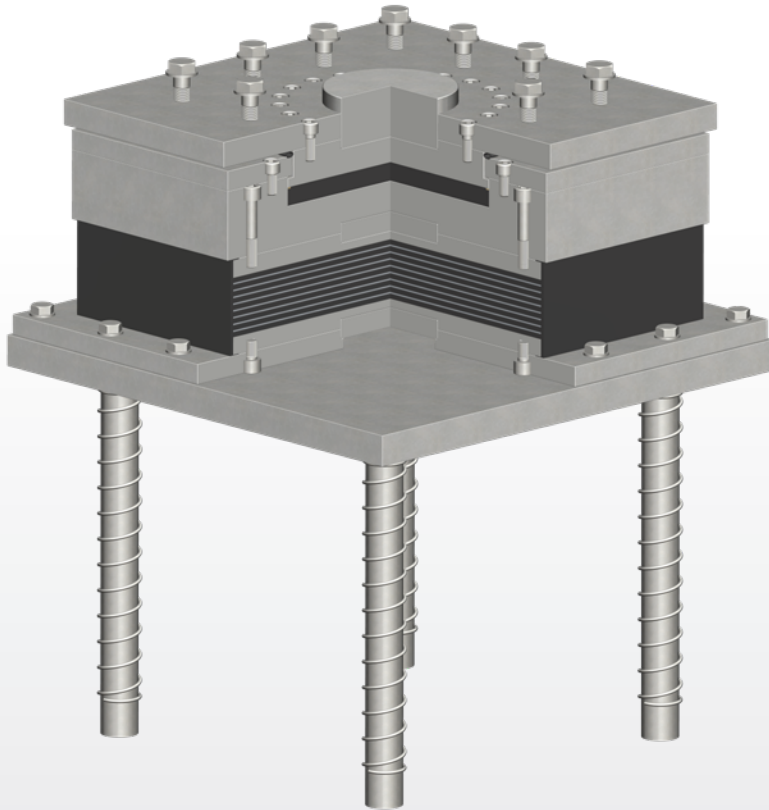


# HYBRID

ハイブリッド支承  
Hybrid Bearing



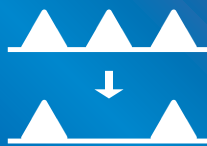
新技術情報提供  
システム(NETIS)登録

登録No : KK-050100-A  
技術名称 : ハイブリッド支承

※現在掲載期間は終了しております



設計自由度の  
向上



設置スペースの  
コンパクト化



メンテナンス性  
の向上※

※機能分離支承と比較した場合

ゴム支承を回転変位から解放することで、形状設定の自由度が向上し、周期設定を任意に行うことが可能となります。また、耐震補強等で桁遊間の制約が顕著な場合、ゴム剛性を高めた弾性ストッパーとして機能させ、地震時応答変位を抑制することができます。



Tomorrow's Technology, Today.  
Kawakin Holdings Group

## 従来のゴム支承の構造



- ・鉛直荷重支持機能
- ・水平変位追従機能(常時)
- ・回転変位追従機能
- ・弾性支持機能(地震時)

回転変位追従機能を持たせるために形状・積層構成の設定に制約が生じ、適切な固有周期の実現や支承自体の安定性確保が問題となる場合があります。

## ハイブリッド支承の構造



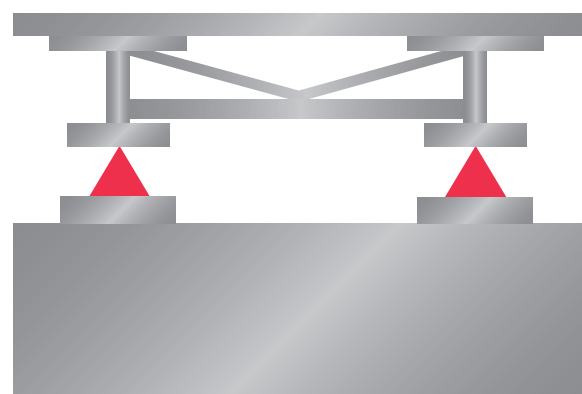
BP・B機構部の密閉ゴムの変形により橋桁の回転変位を吸収するため、ゴム支承自体には回転の影響が伝達されない。



形状設定の自由度が飛躍的に向上し  
**コスト低減** が図れる!

## 設置スペースのコンパクト化

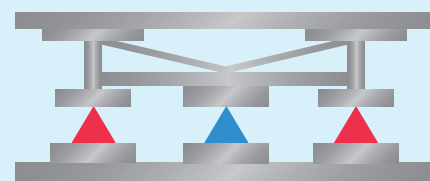
機能分離型支承ではなく機能一体型支承とすることで、下部工上の平面スペースを広く確保できます。



従来の一体型積層ゴム支承

### ●機能分離支承(鉛直支承+水平支承)

従来の機能分離支承では、鉛直支承と水平支承を設置するため下部工上の設置スペースが必要。



### ●ハイブリッド支承

ハイブリッド支承では、鉛直支承と水平支承を一体化することで下部工上スペースの確保が可能。

